

**特許  
とれたて!!**  
take out a patent

試作品の段階と構想は  
ほとんど変わっていない



株式会社 藤興業

伐採中の事故を無くしたい!  
林業の現場を変える  
伐採方向指示装置“ガイドレーザー”開発

山から木を伐り出す過程では、常に大きな危険が伴う。整地されていない土地、職人の“勘”に頼ることの多い作業。株式会社 藤興業の佐藤代表は、従業員はもちろん、林業に関わるすべての人たちに安全に作業してほしいと願い、伐採の安全性を高める装置を開発。2017年12月、特許を取得した。(特許 第6249386号)

**趣味がヒントに!  
レーザーで導く安全への道**

伐採中、木が予期せぬ方向に倒れかかってしまい、木の先端が地上まで落ちてこない状態「かかり木」。林業の現場で最も多い死亡事故だ。

「私も若い頃、かかり木を外そうとして失敗し、木が自分に倒れかかってきたことがありました。打ち所が悪かったら死んでいたが、当時はそれが常識で疑問を抱きませんでした。経営者になり初めて事故のない職場の大切さに気付き、何かしなければならぬと考えるようになりました」。

個人の技量に託さず、どうすれば安全な作業ができるのか。毎日考えるようになった佐藤さんを導いたのは意外な光だった。

「趣味のゴルフで球をまっすぐ打つためにレーザー光を使用した練習器具がありました。道筋を示す光線を見てこれを応用できないか、と思ったんです」。

レーザーで伐倒方向を表示し、方向を確認しながらチェーンソーの刃を入れることができれば現場での安全性は格段に高まる。佐藤代表はすぐにホームセンターで材料を買い揃え、試作に取り掛かった。

**技術がつかないだ絆を全国に**

試作品はすぐに認められ、活性化センターや産業技術センターに相談しながら、3年近くをかけて改良を重ねた。価格を抑えることで皆に使ってもらいたいと望んだ佐藤代表のため、製品化を担った金属プレス製品のMEP株式会社も、使用する各部品を全国にかけあって調整する等万全の協力体制で臨んでくれた。各自で持ち寄った技術は実を結び、佐藤代表は“世界にひとつ”と胸を張る。

「他にない商品だからか、特許は約半年で取得できました。今回認められたことで、別の視点からの商品も考案中です」。

既に全国からの問い合わせが相次ぐ“ガイドレーザー”は2019年5月発売予定。常識を破る佐藤代表のアイデアは尽きることなく、全国に広がっていく。



代表取締役  
**佐藤 勝**  
Masaru Satoh

株式会社 藤興業  
〒015-0221 秋田県由利本荘市  
東由利館合字五海保19-4  
TEL. 0184-69-3855  
URL <https://www.fjk-akita.jp/>

会社概要  
林産事業の経営

